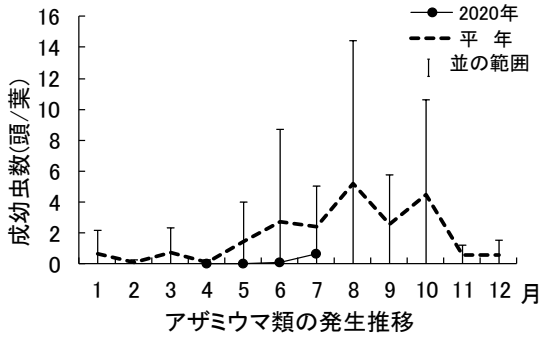
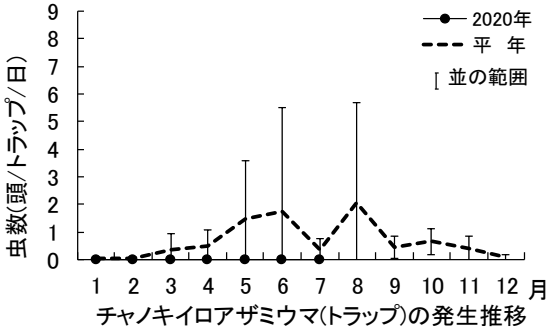
令和　2 年度　　8 月予報

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗） 新梢の発生量が増加するため	

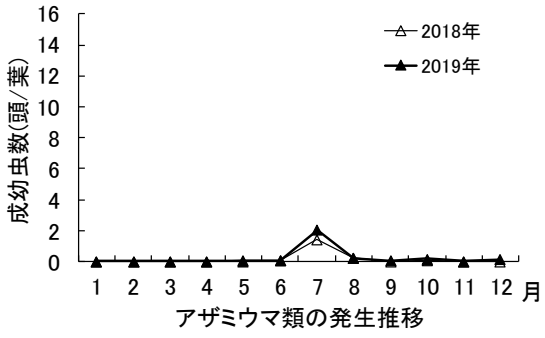
調査結果

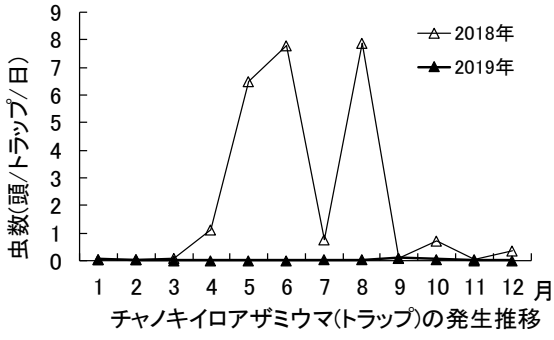
今年と平年の推移





過去2年の推移





・発生ほ場率：80%（平年値：74.5%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

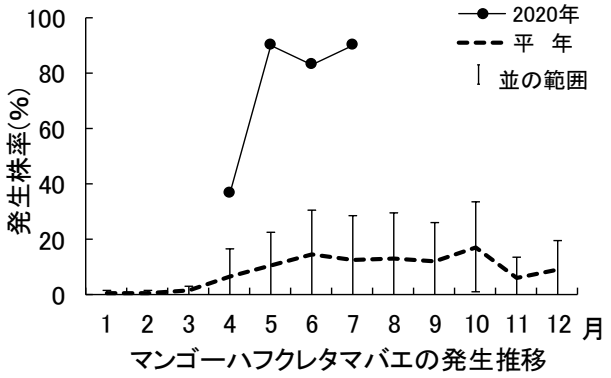
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　8 月予報

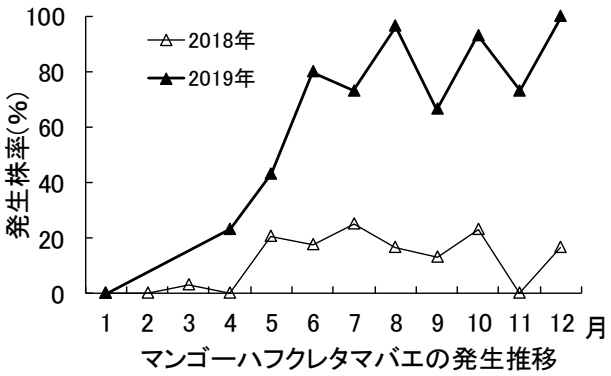
作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	7 月の発生量（平年比）	多		
予報	7 月からの増減傾向	→		
	8 月の発生量（平年比）	多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→） 新梢が発生量が増加するため		

調査結果

今年と平年の推移



過去2年の推移



・被害新梢率：45.1%　（平年値：21.7%）
・発生ほ場率：100%（平年値：35.9%）

防除のポイント

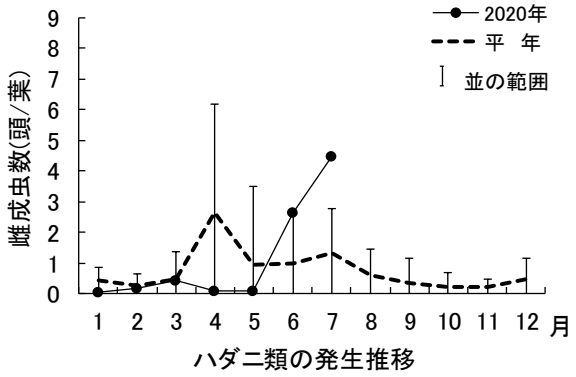
・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・翌不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

令和　2 年度　　8 月予報

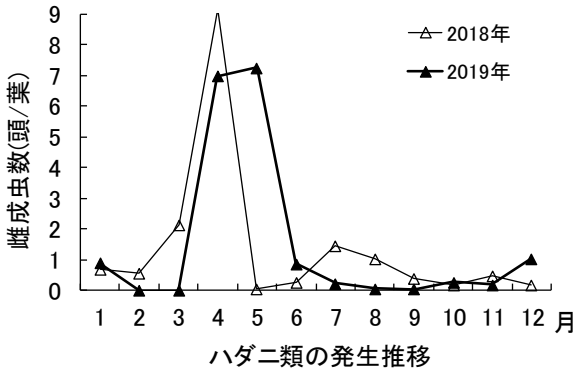
作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類			
調査結果	7 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	7 月からの増減傾向	↘		
	8 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）		

調査結果

今年と平年の推移



過去2年の推移



・発生種：シュレイツメハダニ
・発生施設率：80%（平年値：50.0%）
・新梢での寄生雌成虫数：1.16頭/葉（発生種：シュレイツメハダニ）

防除のポイント

・収穫終了後の防除を徹底する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症